

# 2018～2019年度 秋のRYLAセミナー報告書

Rotary  
District 2660



rotary youth  
leadership  
awards



インスピレーションに  
なるう



**生きぬく!!**  
～様々な知識を得て～

日 時

2018年

9月22日(土)・23日(日)・24日(月・祝)

場 所

関西大学高槻キャンパス (高槻市霊仙寺町2-1-1)

主 催 : 2018～2019年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 山本 博史

主 管 : 国際ロータリー 第2660地区 茨木西ロータリークラブ(ホストクラブ)

〒567-0033 大阪府茨木市松ヶ本町2-35 大阪北摂タバコ会館 TEL: 072-623-2668 FAX: 072-622-1173

✉ [ibanisi@theia.ocn.ne.jp](mailto:ibanisi@theia.ocn.ne.jp)



# 開講式 式次第

日時 2018年 9月22日(土) 13:30 ~14:00

会場 関西大学 高槻キャンパス 高岳館

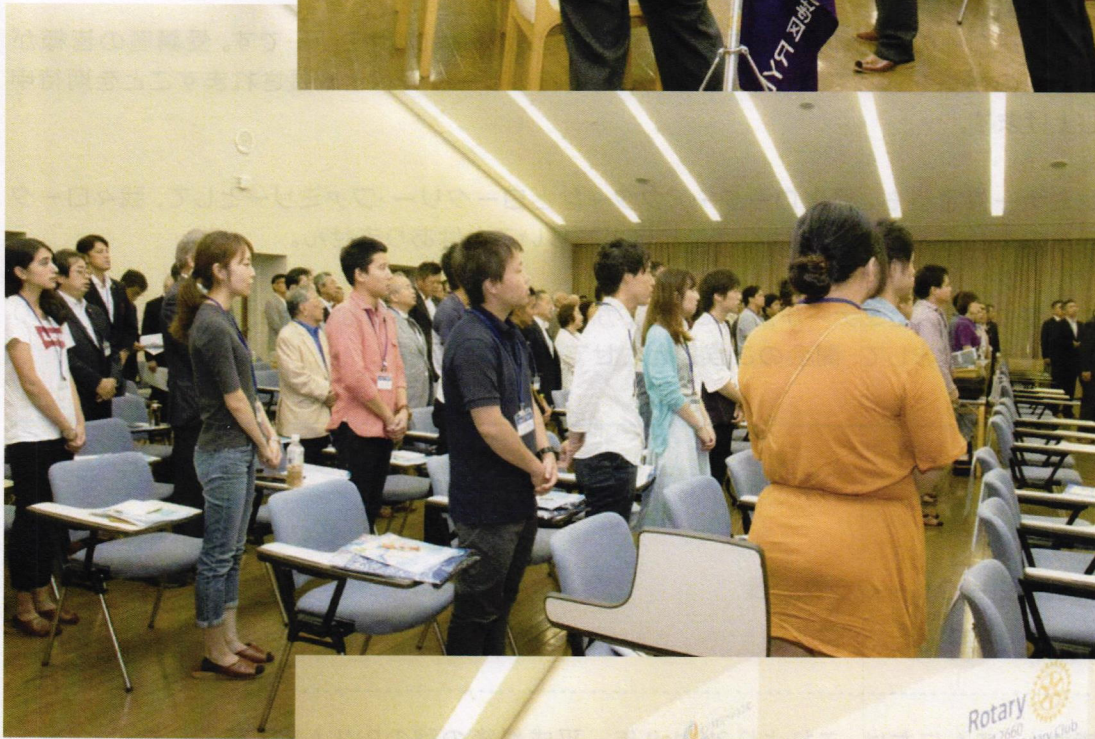
開会点鐘	国際ロータリー第2660地区ガバナー	山本 博史
国歌「君が代」	ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	
主催者挨拶	国際ロータリー第2660地区ガバナー	山本 博史
開講挨拶	茨木西ロータリークラブ会長	清水 達也
趣旨説明	2018-19年度秋のRYLAセミナー実行委員会	田村 英明
参加者紹介	茨木西ロータリークラブ会長	清水 達也
Team RYLA 紹介	2018-19年度 Team RYLA リーダー	塚田 徹
閉会挨拶	国際ロータリー第2660地区ガバナーエレクト	四宮 孝郎
閉会点鐘	国際ロータリー第2660地区ガバナー	山本 博史

〈君が代〉  
君が代は  
千代に八千代に  
さざれ石の  
巖となりて  
苔のむすまで

〈奉仕の理想〉  
奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我らの業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永久に栄よ  
我らのロータリー ロータリー









# 開講式 挨拶

## 主催者挨拶



国際ロータリー第2660地区ガバナー

### 山本 博史

国際ロータリー第2660地区 2018-19年度 秋のRYLAセミナーにご参加頂いた皆様へ感謝を申し上げます。

本年度、国際ロータリー バリー・ラシン会長は、ロータリーがこれからも発展し世界でよい変化を生み出し続けるためには、ロータリーの未来のリーダーシップの育成に、これまで以上に力を入れて取り組む必要があると強調されています。

このリーダーの育成のためのプログラムの一つが、RYLAセミナーです。受講者の皆様が三日間の研修を通して、奉仕の心をもった明日のリーダーへと成長されますことを期待申し上げます。

セミナー修了後も、将来ローターアクターなどロータリー・ファミリーとして、我々ロータリーの奉仕活動に参加頂ければこれほど嬉しいことはありません。

この度のRYLAセミナーが皆様にとってかけがえのない貴重な機会となりますよう心より祈念申し上げまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

## 開講挨拶



茨木西ロータリークラブ会長

### 清水 達也

皆さん、こんにちは。これより2018年 平成最後の秋のRYLAを開講致します。今回のホストをつとめさせていただきます茨木西ロータリークラブは、会員数29名のクラブです。小さいクラブですが、田村実行委員長を中心に会員全員の協力のもと、RYLAのホストを務めさせていただきますので宜しくお願い致します。並びに、Team RYLAの皆様をはじめ、地区の皆様の協力を頂き本日開催できることをホストクラブを代表致しまして感謝申し上げます。

さて、今回のRYLAは36名の受講生が集まって頂きました。今回のテーマは、「いきぬく!! 様々な知識を得て」です。内容については、田村実行委員長より説明があると思いますが、皆さんのこれからの人生は山あり谷ありだと思います。

少しでも生きぬくためのプラスになり、皆さんのスキルアップにつながるような色々なプログラムを用意させていただきました。受講生の皆さん、楽しみながら頑張ってください。

本日より、2泊3日の短い期間ですが、受講生の皆さんにとって、そしてわれわれロータリアンにとって有意義な3日間である事、記憶に残る楽しい思い出になる事を期待いたしまして開講挨拶とさせていただきます。



# 主旨説明



2018-19年度秋のRYLAセミナー実行委員会

## 田村 英明

茨木西ロータリークラブ今年度秋のRYLAセミナー実行委員長の田村英明でございます。

本日は多くのロータリアン、受講生のご参加をいただきまして誠にありがとうございます。開講式に先立ちまして、本セミナーの主旨を説明させていただきます。

皆様にはお気づき事と存じますが近年、日本に住む私たち周りでは、地震災害、風雨災害が起こっています。

永年比較的穏やかな環境であった関西、この北摂にも6月の地震や、大型台風21号で、我々の生活は大きく損なわれています。

しかし、我々は負けずに生き残っていかねばなりません。

特に、平成の年を越え、新しい年から次の引き継ぐ皆さんに、いろいろな知識を身に付け、たくましく生きて行って欲しいと私たちは考え、テーマは「生き抜く」、副題を「様々な知識を得て」とさせていただきます。

どうぞ、本日から3日間、セミナーを通じて皆さんが「生き抜く」力を少しでも掴んでいただければ幸いです。





# 基調講演

## 3度のオリンピックを 経験して選手から学んだ思い

トライアスロンコーチ チームブレイブ所属

### 八尾 彰一 様



### トライアスロン

トライアスロンは、ひとりの選手が水泳、自転車、ランニングを連続して行う持久競技です。1978年、オアフ島で開催されたアイアンマンレースが世界で最初の競技としてのトライアスロンです。日本では、1981年、皆生トライアスロン大会が最初です。

私は高校時代、陸上の名門と呼ばれている兵庫県の報徳学園高校に通い、駅伝の選手として三年間過ごしました。当時は、褒めて育てるといった概念が全くない時代でしたので、先輩や同級生、また監督からも厳しい声をかけられながらがんばっていました。しかし、なかなか強くなれなかったため、悔しい思いをしていた三年間だったのです。何とかやり抜くことができたのは、両親の存在があったからです。私は、小学生の時、蛍狩りに連れて行かれていました。なぜかと言いますと、採ってきた蛍を篠山にある病院二か所と、警察署に届けるためでした。決して見つかってはいけない。父からそう言われて届けるのが私の役目でした。今だから分かることですが、この時、陰徳を教わっていたのです。辛い時は、母がずっと言ってくれていた言葉がいつも心の中にありました。それは、「頭で思い浮かべること、口に出すことはそうなる」という言葉と、「できる、できる、必ずできる」という言葉でした。

高校を卒業したら仙台大学に進学しましたが、高校の監督さんと、仲間を見返してやろうという思いでフルマラソンに挑戦することにしたのです。

私の初フルマラソンは二十歳の時です。この時はトレーニングを結構ガンガンやってレースに臨んだのですが、三十キロ地点で体が動かなくなり、歩いてしまったのです。

すると、後から私よりもかなり年配の方が、「楽しいね、楽しいね」と言いながら追い抜いていったのです。更に、すごい言葉を言われました。

「苦しいことを楽しもう」と。

私は高校時代から、「苦しいことは苦しい」という感覚でしたので、そんな価値観は全くありませんでした。その追い抜いていった声の主は、高石 ともやさんという、歌手でありながらマラソンにも取り組まれていた方です。京都マラソンに出場して二時間四十五分で走り、市民ランナーのカリスマ的存在だったのです。

結局そのレースは、私は三時間十一分、当時四十歳の高石 ともやさんは二時間五十三分でゴールしました。

さて、私は高石 ともやさんについて非常に興味がわき、いろいろと調べていきました。すると、日本で最初のトライアスロン(一九八一年開催の皆生大会)に出場されていたことが分かりました。

そのレースは最初から最後まで二人の方が先頭争いをされていました。高石ともやさん当時三十九歳、消防士の下津紀代志さん二十二歳。この二人の抜きつ抜かれつの熾烈な争いでした。ついに、ゴールの七百メートル手前になった時に、高石さんは下津さんに、

「もうここまでお互いががんばってきたのだから、一緒に手をつないでゴールしませんか」

と言って実際にそのようにゴールをしたのです。日本のトライアスロンの幕開けは手をつないだ二人のフィニッシュだったのです。

後に、高石さんはこのレースを振り返り、「競争の心理から共存のころころに変わって手をつないでゴールをした」と言われ、「勝者の遥か上には勇者の世界があった」という名言を残されました。

実はこの言葉こそ、私たちトライアスロンに関わる者が大切にしなければいけない思いがこもっていました。

### 挑戦

こうして、トライアスロンに興味を持ち、挑戦しようと思ったのですが、よく考えると出来ないことが山積みになりました。クロールができない、専用の自転車を買うお金がない、練習の方法がわからない、など。

それで私は、オリンピックであり、大学のボブスレー部のキャプテンである鈴木 省三さんという方に相談したのです。



すると鈴木さんは、「それいいね、それやれるよ」といった感じで、絶対に無理という言葉を言いませんでした。いつ会いに行っても、「彰一なら必ずやれる」とおっしゃいました。そして、このようなことを言われ続けると私も次第にイメージが湧いてきて、本当に実現できる気がしてきたのです。

さらに鈴木さんは私に、「トライアスロンを競技スポーツとして最初に実践をした第一人者になれ」とおっしゃいました。こんなふうに鈴木さんと話していると、私のやる気も益々高まっていき、水泳のクロールもできるようになり、アルバイトをして自転車を購入でき、トライアスロンの知識もみるみる増えていったのです。そして、大学を卒業する時にトライアスロンに挑戦するという目標を決めたのです。

私は大学を卒業すると、兵庫県の実家に戻り高校の体育の非常勤講師をやりながら、空いている時間にトライアスロンの練習をしていました。しかし、二年で教師の仕事を辞めることにしました。それは、鈴木さんに、「トライアスロンをお前が第一人者としてやるんだ」と言われたことがずっと頭にあり、「日本で初めての実業団チームを作ろう」と思ったからです。実業団チームを作るために二十四歳で無職になりました。アルバイトなどでやりくりをしながら、自分の夢を出来るだけ多くの人に話すようにしていると応援をしてもらえるようになっていきました。そうして、七年かかったのですが、ついに夢が実現したのです。

テイケイ(株)が実業団チームを作ってくれて、オーナーが、「全部お前に任せろ」と言ってくれたのです。こうして選手兼監督という立場でプロの活動を開始しました。兵庫県の猪名川町に一軒家を借りていただき、そこに私と選手たちだけでトライアスロンの練習をしていきました。田舎町で誰も見に来ることはありません。とにかく結果を残すだけでした。朝に一時間ウエイトトレーニングとプールで五千メートルの水泳。昼食後は、自転車七十キロにランニング十五キロ。そんな練習をしながら世界一を目指して練習をしてきました。

私たちはこのような練習を積み重ねていき、トライアスロンのレースに出場していきました。そして、夢であったハワイの世界大会、オリンピックにも出場できるようになったのです。

アイアンマン世界選手権大会はハワイ島のコナという町で行なわれます。水泳三・八キロ、自転車一八〇・二キロ、ランニングは四二・二キロ、合計二二六・二キロです。制限時間は十六時間。朝七時から夜十一時までやるのです。

私も何度も出場して数々の失敗もしましたが、一九九四年の大会ですごい経験をしました。ゴールまでがたった三十分くらいに感じたのです。

実はその年の五月に膝に激痛が走り、手術をしなければいけなくなったのです。針治療とマッサージでごまかして何とか予選を通過し、ハワイでの本戦に出場できたのですが、完走できる保証はありませんでした。ところが、レース中盤になっても膝の痛みは出ず、自転車をとても良い感じで走ることができたのです。

そうして、最後のランニングに入ったのですが、そこで涙を流しながら必死で応援をする人に会ったのです。それを見た瞬間に、「今、走ることができることに感謝をしなければいけない」という、勝ち負けを超えたような心境になってきました。すると、膝が痛くならなかったのです。そうして奇跡的に完走できたのですが、何と生涯で一番良い記録が出たのです。九時間三十二分三十八秒の六十六位でした。この世界選手権大会で百位以内に入るとトライアスロンのトップ選手と称されるので、私はいつ引退してもいいとさえ思いました。

アイアンマン世界選手権大会と言えば、もう一つ貴重な思い出があります。二〇〇三年にあの高石 ともやさんが、六十歳でこの大会に挑戦されたのです。実は、四十歳のときに一度挑戦されていたのですが、ちょうどそのレース中に友人の訃報が入り、途中でリタイアされて日本に戻られたのです。だからその時は完走ができなかったのです。それで、もう一度チャレンジしたいという想いで練習をされ、十三時間一分十二秒で見事完走をされたのです。

高石さんはそのレースが終わってから、私と二〇〇〇年にシドニーオリンピックに出場した小原選手を部屋に呼ばれました。それで高石さんはこう言われたのです。

「これからはヒューマンなアスリートを育てて欲しい。アンダースタンドができる指導者を目指して欲しい。僕の言うアンダースタンドというのは理解ができるという意味ではなくて、『下(アンダー)に立つ(スタンド)』と言う意味だ。指導者というのは上からの目線で選手を動かすのではなくて、同じ目線になって、気持ちを理解し合うことが大切だと思う」

この言葉は私にとって二度目の高石さんからの学びでした。

実は、その頃の私は少し調子に乗っていたのです。しかし、この高石さんの言葉を聞いて、このままではいけないと思い、勉強会や読書などを通して学び、自分を磨いていくことを大切にするようになったのです。

## 憧れの大人を作るチームブレイブ

このように想いを込めて取り組んできた実業団チームですが、今から十年前に会社の事情で廃部になってしまいました。これは仕方のないことでしたが、共にやってきた選手がいなくなり、私の指導者としての価値もなくなってしまったのです。

そんな時に、当時練習生で来ていた女子学生が三日に一回僕の家に来て、励ましてくれたのです。そのおかげで、私はがんばろうと思いました。二〇〇八年の暮れに地域密着のトライアスロンクラブ『チームブレイブ』を立ち上げたのです。その時に、「喜びの幸せを分かち合う場の創造」という理念を作りました。



今は大体百二十人くらいの会員です。小学一年生から八十歳の方までおられます。勝ちに行くクラブではなくて、皆が支え合い、共に成長する場、喜びの場にしていくことを目的にやっています。「自分ができたらうれしい。だから、仲間ができないことも支援する」という場所なのです。

そんなチームプレイのこれまでの歩みの中で、特に思い出深い中学生がいましたので少しお話をさせてください。

梶君という中学一年生でした。ある日、自転車の練習中に正面から大型トラックが突っ込んできて、梶君が轢かれてしまったのです。トラックの無謀運転でした。すぐに病院に運ばれましたが、生死を彷徨う状況でした。不幸中の幸いで、翌日奇跡的に意識が戻ったのですが、右腕麻痺になってしまったのです。

ところが、目が覚めた梶君は心配する両親に向かって、

「お父さん、お母さん悲しい顔をしないで。僕は必ず日本一になって喜ばせてあげるから」と言ったのです。

現在彼は二十歳。右手は動かないですが自転車に乗り、パラリンピックを目指してがんばっています。彼は(株)ベネッセが主催しているトビタテジャパンという海外留学の選考に見事合格し、百万円の支援金を国からもらってベルギーに留学しました。そして、彼は何とプロの選手になったのです。

さて、最後になりますが、私たちが今目指しているのは、「憧れの存在になる大人作り」です。トライアスロンを通じて生き生きとした大人を作ること、これこそがヒューマンなアスリートだと思います。

ありがとうございました。





研修プログラム  
スケジュール

# 1日目

## 9/22(土)

- 13:00 開講式
- 14:00 基調講演(研修1) 八尾 彰一氏
- 16:00 (研修2) アイスブレイク
- 18:00 夕食
- 19:00 (研修3) ロータリーについて
- 20:00 入浴 ミーティング、班ごとのグループ行動
- 22:00 消灯





研修プログラム  
スケジュール

# 2日目

## 9/23(日)

06:30	起床・掃除
07:00	朝の集い
08:00	朝食
09:00	(研修4) 危機管理 防災甲子園 河田 のどか氏
10:00	(研修5) 救命処置技術講習 大阪ライフサポート協会
12:30	昼食
13:30	(研修6) 災害時のストレッチ体操 滝本 芝麻子氏
14:15	(研修7) 戦国時代を生き抜いた若き武将 山本 高司氏
15:15	(研修8) ファシリテーション
17:15	夕食 摂津峡でバーベキュー
20:00	(研修9) ロータリーパパとの座談会
21:00	入浴
23:00	消灯





研修プログラム  
スケジュール

3日目

9/24(祝)

- 06:30 起床
- 07:00 朝の集い
- 08:00 朝食
- 09:00 (研修10) グループ発表準備
- 12:00 昼食
- 13:00 (研修11) グループ発表
- 14:00 閉講式 修了証書授与
- 15:00 集合写真撮影
- 15:30 解散





# 1班

## ロータリーパパ

山野 武則

## Team RYLA

甲斐 翼

森本 秀樹

## 氏名

藤沢 翔平

新開 由乃

パン・シャオヤン

増子 龍生

名取 宗

出村 和彦

山本 健諭

## 推薦クラブ

茨木RC

大阪南RC

茨木西RC

茨木RC

茨木西RC

大阪難波RC

大阪南RC



## ロータリーパパより



茨木西RC

山野 武則

2018-19秋のRYLA、ロータリーパパを拝命頂きました、茨木西ロータリークラブの山野武則と申します。この度のRYLAホストクラブに拝命頂きました時、これは大変な事に！腰を据えて取り掛からなければ！と諸先輩方は少なからず慎重な面持ちでした。我がクラブでは同年創立25周年を迎える事もあり、何かと忙しく大変なのだろうなあ。と呑気に構えておりました。と言いますのも私は入会2年目、何も深く考えずロータリーパパ頼んだぞ。ぼん！と肩を叩かれ。サー！の如く返答。そこからの準備が結構大変でした。。

開講当日、パパさん達のチーム分けがされており、テーブルを囲んでご挨拶。かたい！かたい！。自分もかたい！。しかしみんな一生懸命挨拶しようとする姿勢が感じ取れます。おっ。我がチームはスレていません！みんな前を向いています。そしてアイスブレイク。まずはペーパータワーの高さ競争。我がチーム初戦1位！一挙に距離が縮まります。その後2回戦以降凡退。。私はと言うとやや先輩ぶって「さーみんなで作るのですよー」と傍観。すると更にみんなの距離が縮みます。おいおい、私が置いていかれるぞ！と一挙に焦り出します。チームのみんなは真面目に何かを得ようと調べ、考え、互いに屈託無く問い掛け合い、解答を得ようとしていました。

2日目、更に結束力が高まります。朝から忙しく講義の連続。そして待ちに待った夕食(夜食)。暗闇の山道を抜け、何やら怪しい獣道が如く小道を抜け、やっと出たところはランタンを巨大化したような灯りの中に現れたバーベキュー場。ここでは既に共に取り組み、共に成果を得た親友同士のように、笑い、ふざけ合い、おにぎりを片手にお肉を焼いていました。そう言えば、ミカンも焼いていました。これが焼き芋のような香り。

3日目、いよいよ成果発表。準備に忙しく、焦りながらも知恵の出し合いが続きます。そしていざ発表。皆さん大変素晴らしい発表でした。

RYLAに参加された皆さん。皆さんが得られた、必然的にRYLAへの参加によって求められた、見ず知らずの人達との関係の築き方、後にその人達と共に成果を掴もうとする姿勢、私自身も是非習得したかった内容です。皆さんが自らモチベーションを高めよう意識した初日、そしてそれが無意識に高揚した意識に切り替わった瞬間、私自身も「積極姿勢」、「リーダーシップ」を発揮する為に必要な事を改めて見出すきっかけとなりました。今後皆さんは新たなチャレンジに、個人として挑み、そしてチームとしての成果を掴もうと臨む場面が多々あるかと思えます。そんな時「RYLA」が記憶に蘇ってくれば、私自身も少しは貢献できたのかと、ありがたく自負させていただきます。みなさん、わずかな時間でしたが、ありがとうございました。私にとっても、大変大きな経験、出来事でした。



## 2班

### ロータリーパバ

競 耕三

### Team RYLA

高橋 洋子

山本 史子

### 氏名

小川 清美

昌尾 俊介

シン・カン

大野 正暉

杉山 千寛

平岡 祐貴

大田 詠舞

### 推薦クラブ

大阪北RC

大阪RC

茨木西RC

茨木西RC

茨木RC

吹田西RC

大阪西南RC



## ロータリーパバより



茨木西RC

競 耕三

二班のロータリーパバを担当しました、競耕三です。RYLAは春のRYLAの初日だけ見学させていただきだけで、僕にロータリーパバが務まるのか不安でしたが、受講生の皆さんも留学生の方を除けば、皆ある程度社会経験のある方たちでしたので、杞憂でした。留学生の方も若しながら目的をもって日本に来られており、言葉の一つ一つ選びながらコミュニケーションをとられていたのを覚えています。1日目のアイスブレイクで皆の緊張もほぐれ、1日目の反省会では、なぜクリアできなかったのかを皆で話し合い、リーダーとなる人がおらず皆バラバラだったからではないかという意見が出ました。2日目のパーベキューでは、皆が皆、役割を分け合い楽しく、おいしく食事をとることができました。2日目のロータリーパバとの座談会では、1日目の話が発展しリーダーとは何だという話になり1人1人意見を聞いていったのですが、1人『リーダーというものに期待していない』と意見を言うのをパスされた方がおりまして、次の日すぐくっそ眠そうにしていたので、どうしたんだろうと思っていたら、発表準備の時に、自分の意見を言ってくれました。チームRYLAのふみふみさんと『眠れなかったんやねー』『真面目か!』と突っ込みを入れながら涙ぐんでしまったのを覚えています。発表準備は何も言うことなく、受講生だけで仕上げてくださいました。RYLAを振り返ると研修など、自分も初めてのことがばかりで、受講生とともに成長させていただいたと思っています。最後にRYLAに参加された受講生の皆さんが社会で活躍されることを願い、RYLAの報告とさせていただきます。



# 3班

## ロータリーパパ

小木曾 一貴

## Team RYLA

井上 望美

田原 至

## 氏名

中井 菫太

ゲン・カンギョク

八木 広恵

綾瀬 翔太

前迫 和法

小西 聖也

ライ レイケツ

## 推薦クラブ

茨木西RC

大阪東RC

守口RC

東大阪RC

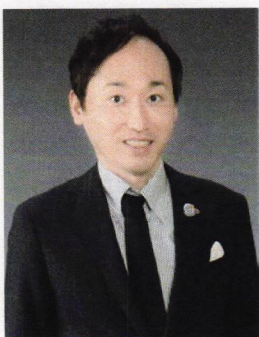
茨木西RC

吹田西RC

摂津RC



## ロータリーパパより



茨木西RC

**小木曾 一貴**

3班のロータリーパパを務めさせていただきました茨木西RCの小木曾一貴です。

私は、ロータリー入会后1年程の若輩の会員で、RYLAセミナーにフル参加することは初めてで右も左も分からずに、このRYLAセミナーに臨みました。RYLAセミナー開催直後の1日目は、受講生の皆さんと一緒に、緊張していて、この3日間を乗り越えられるのか、不安な思いでいっぱいでした。しかしながら、1日目のアイスブレイクを歯切り、徐々に緊張が解けていき、夕食の時間も楽しく過ごせたことが昨日のこのようです。2日目、3日目と研修を通じた成長、そして友情という輪が形成できた、本当に貴重な体験でした。

私はロータリーパパという立場でしたが、RYLAセミナーが終了してみると、年配の受講生という感じで、受講生の皆さんから学ばせて頂いた事ばかりだったと思います。3日間という短い期間でしたが、同じ釜のメシを食い、寝泊まりや行動を共にする、RYLAセミナーだから味わえた、言葉では示せない充実した研修で、3班の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、RYLAセミナー中、お付き合い頂いた3班の皆さんに、心から御礼を申し上げますと共に、今後の皆さんのご健康とご多幸、そしてご活躍をお祈りしております。



## 4班

### ロータリーパパ

敷知 龍一

### Team RYLA

塚田 徹

田中 康太郎

### 氏名

喜畑 翔太

上村 優太

前川 興寿

木村 友貴佳

ペイ・カウ・カン

越田 祐麻

曾 佳荷

### 推薦クラブ

茨木西RC

守口RC

大阪東RC

茨木西RC

茨木西RC

大阪心斎橋RC

大阪アーバンRC



## ロータリーパパより



茨木西RC

敷知 龍一

私は今回のRYLAセミナーで4班のロータリーパパとして参加させていただきました、茨木西ロータリークラブの敷知龍一です。私の娘や息子と同世代のメンバーと寝食を共にしたRYLAセミナーの経験は、講義や実習の時間を共有していくにつれ芽生えた信頼関係がとても新鮮なものでした。当日を迎えるまでは、ホストクラブとしてRYLAセミナーの企画、運営にも関わっていましたので、RYLAの目的である青少年指導者育成に効果もてるのか不安でした。また、参加者が有意義な時間を過ごして、いい思い出となればと軽い気持ちで考えていました。RYLAセミナーでは開会式後、初めに恒例のアイスブレイクがあります。私の4班はアイスブレイクの成績がほかの班に比べて悪かったので罰ゲームを与えられました。そしてその罰ゲームは朝食前の時間にみんなで何かレクリエーションをする出し物を考えるというものでした。その日の夕食後の自由時間には、どんなレクリエーションにするかみんなが楽しく和気あいあいと話す仲間になっていました。最終日のグループ発表では、発表の形態は自由でしたが、4班のみんなはお互いの特徴をつかんでいて、それぞれの役割分担も自然にできていましたのでグループ発表を寸劇ですることになりました。発表の時間では私が思っていた以上にみんなの息がぴったり合っていて青少年指導者としての知識と技術を会場を笑いでにぎやかにしながら活動報告を披露してくれました。これからRYLAセミナーに参加したみんなが、ともに過ごした経験を活かして大きく成長してくれることと信じています。また、次回のRYLAセミナーで会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。



# 5班

## ロータリーパパ

森 拓哉

## Team RYLA

宮田 陽太

池島 詠美

## 氏名

中島 宏喜

晋山 勝貴

堀 美久

山本 ロシオ

ライ・イエン・ティン

佐藤 龍二

谷口 和真

エイチー ビュー

## 推薦クラブ

吹田江坂RC

大阪天満橋RC

大阪東RC

大阪南RC

豊中RC

茨木西RC

茨木西RC

茨木西RC



## ロータリーパパより



茨木西RC

森 拓哉

ロータリーパパをさせて頂いた森拓哉と申します。

当初お役を頂いた時は、入会一年目の自分にその大役が務まるのか大きなプレッシャーを感じました。

一方で、茨木西ロータリークラブの同期入会のメンバーと一緒にお役をさせて頂けるということで、当日の進行具合、ロータリーパパとしてどのようにチームに関わっていけば良いかを時に仲良く、時にぶつかり、議論をしながら、ロータリーパパの在り方を模索できたことは、ロータリアンとして社会奉仕にいかに関わるかを、現場から直に学ばせて頂ける貴重な機会となりました。

受講生の皆様も全員真剣に取り組まれており、自分にできることを積極的にされる姿は、自身がそのようにできているかを問われている気持ちになり、勉強になることばかりでした。

当初どこかで、何かを教えよう、導こうという力んだ姿勢があったようにも思いますが、出会う人はすべて師であるということにはたと気づかされた思いがします。

ロータリアンの皆様、受講生の皆様と共に3日間を過ごすことができ、貴重な晩夏の思い出、出来事となりました。ありがとうございます。



# 閉講式 式次第

日時 2018年 9月24日(月) 14:00 ~15:00  
会場 関西大学 高槻キャンパス 高岳館

## 開会点鐘

主催者挨拶 国際ロータリー第2660地区ガバナー 山本 博史

参加者紹介 茨木西ロータリークラブ会長 清水 達也

修了証書授与 国際ロータリー第2660地区ガバナー 山本 博史

所感 国際ロータリー第2660地区RYLA委員会 委員長 濱谷 和也

ローターアクトクラブ紹介 国際ロータリー第2660地区ローターアクト代表 高橋 正洋

閉講宣言 茨木西ロータリークラブ会長 清水 達也

RYLA旗引き継ぎ 茨木西ロータリークラブ会長 清水 達也

2018-19年度春のRYLAセミナーホストクラブ挨拶  
東大阪東ロータリークラブ会長 水上 雅博

閉会点鐘 国際ロータリー第2660地区ガバナー 山本 博史

## ロータリーソング「手に手つないで」斉唱

〈手に手つないで〉 手に手つないで  
つくる友の輪 輪に輪つないでつくる友垣  
手に手輪に輪 ひろがれ 回れ  
一つ心に おーロータリアン おーロータリアン





## 所 感



国際ロータリー第2660地区 RYLA委員会 委員長

### 濱谷 和也

受講生の皆様は、晴れてRYLAセミナー修了生となり、同時にロータリー学友の資格者となりました。

今回は、「生きぬく!! ～様々な知識を得て～」をテーマに、様々な研修が準備され、受講生の皆さんは5班に分かれ、各班にロータリーパパが付き、RYLAセミナー終了まで食事や移動を含め、終始班毎に行動を共にして受講されました。

初日は「基調講演」「アイスブレイク」「ロータリーについての講習」、2日目「朝の集い」のゲームでは、初日の基調講演やロータリーについての講習からも出題されており、皆さんが各研修を真剣に受講していることを実感することができました。

その他に、事例を交えた危機管理についての講義や、心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使い方を実践する救命処置講習、災害時のストレッチ体操の方法などを体験され、「生きぬく」ための「様々な知識を得る」ことができたことでしょう。

2日目の夕食会場まで、徒歩20分程ですが、班毎にパパと共に移動し、自然と役割分担ができ、炭火を囲んで“ワイワイ”“ガヤガヤ”とバーベキューを楽しみました。また、街灯も無い真っ暗な帰り道を、小さな懐中電灯で、お互いの足元を照らしながら歩みを進めている姿に、各班共にチームとして機能していることを実感しました。

宿舎に戻り、消灯までの時間は班毎にパパを囲み、座談会が行われ、パパと受講生達が様々な話題でお互いに話をし、受講生だけではなく、パパも各班のメンバーに対する想いが深くなりました。

消灯後の午前0時前、突然、関西大学の施設全体が停電し、全館真っ暗で水も出ない状態になり、早速、危機管理の実戦訓練のようでしたが、幸い午前3時には復旧し、翌朝には通常通りに戻り一安心しました。

最終日の午前中は、グループ発表を行うための準備時間で、昼食後の僅かな時間も使い、リハーサルや慌てて資料を作り直す班など、発表開始まで最善を尽くしました。地区役員や多くのロータリアンが見守る中、皆さんが体験したRYLAセミナーについて、工夫を凝らした方法で発表している姿を見て、皆さんにRYLAセミナーの趣旨が十分に伝わっていることを実感しました。

最後に、受講生を推薦されたロータリアン、参加・登録された会員、ホストクラブ会員、地区RYLA委員、Team RYLA他、関係各位の皆様のご協力に御礼を申し上げ、2018-2019年度 秋のRYLAセミナーの所感といたします。



# 閉講挨拶



茨木西ロータリークラブ会長

## 清水 達也

受講生の皆様3日間のRYLAセミナーお疲れ様でした。

今回「生きぬく!! 様々な知識をえて」のテーマで色々な研修を体験して頂きました。最後のグループ発表をみて、この3日間、皆さんはよく学んで頂いたと感動しております。

また、皆さんの表情を見ていますと、初日と比べると顔つきが変わって、スキルアップしたように思います。今回 学び、経験した事をこれからの人生に役立ててくれればホストを担当しました茨木西クラブのメンバーも嬉しいかぎりです。

受講生の皆さん 我々ロータリアン特にロータリーパパは、貴重な経験、感動を皆さんからもらいました。RYLAセミナーの経験を生かして、これから大きく羽ばたいて、周りの人々のインスピレーションになって下さい。楽しみにしております。

最後に、Team RYLAの皆さん、地区関係者の皆さん色々とお協力いただきありがとうございました。

茨木西ロータリークラブを代表して、お礼申し上げます。

それでは、秋のRYLAを閉講いたします。ありがとうございました。



# 収支報告書

## クラブ別登録会員・受講者数一覧

組	クラブ	受講者	ロータリアン
IM 第1組	池田		3
	池田くれは		6
	箕面		3
	箕面千里中央		3
	大阪水都		
	大阪中央		1
	大阪北梅田		6
	大阪北	1	18
	大阪大淀		3
	大阪そねざき		
	大阪梅田		3
	大阪梅田東		
	豊中	1	5
	豊中千里		3
豊中南			
小 計		2	54
IM 第2組	茨木	3	12
	茨木東		4
	茨木西	12	23
	大阪東淀ちゃやまち		1
	大阪淀川		5
	千里		3
	千里メイプル		6
	摂津	1	
	新大阪		1
	吹田		1
	吹田江坂	1	3
	吹田西	2	
	高槻		1
	高槻東		4
高槻西			
小 計		19	64
IM 第3組	大東		1
	大東中央		3
	枚方		10
	門真		3
	交野		
	香里園		
	くずは		3
	守口	2	3
	守ロイブニング		1
	寝屋川		
	大阪東	3	14
	大阪城東		
	大阪城北		2
	大阪鶴見		3
小 計		5	43

組	クラブ	受講者	ロータリアン	
IM 第4組	東大阪	1	8	
	東大阪東		19	
	東大阪西			
	東大阪中央		3	
	東大阪みどり		3	
	大阪柏原			
	大阪御堂筋本町		2	
	大阪難波	1	3	
	大阪なにわ		1	
	大阪ネクスト			
	大阪南	3	14	
	大阪南なみはや衛星		2	
	八尾		20	
	八尾中央		2	
八尾東		1		
小 計		5	78	
IM 第5組	大阪堂島		2	
	大阪フレンド		1	
	大阪みおつくし			
	大阪西北		1	
	大阪リバーサイド		3	
	大阪船場		3	
	大阪心斎橋	1	2	
	大阪西南	1	11	
	大阪ユニバーサルシティ		3	
	大阪アーバン	1	5	
	大阪うつほ		2	
	大阪西			
	小 計		3	33
	IM 第6組	大阪	1	1
大阪イブニング			1	
大阪平野			4	
大阪城南			2	
大阪中之島			3	
大阪大手前				
大阪咲洲				
大阪東南				
大阪天満橋		1	5	
大阪天王寺			3	
大阪帝塚山				
小 計		2	19	
合 計		36	291	



# 2018～2019年度 秋のRYLAセミナー収支報告書

## 収入の部

	明 細	金 額
地区活動資金	秋のRYLAセミナー予算	2,000,000
登録料	ロータリアン登録料 291名	1,149,000
	青少年受講料 36名	432,000
収入の部合計		3,581,000

## 支出の部

	明 細	金 額
研修費	講習・講演料一式	261,768
会場・宿泊・食事	宿泊施設・弁当・BBQ代一式	1,068,549
交通費	バス代	7,920
損害保険	宿泊・日帰り参加者	37,582
広告宣伝費	チラシ・横断幕・写真代	204,336
	報告書	108,000
事務経費	発送費・手数料・名札・文具一式	84,034
TeamRYLA活動費		59,644
剰余金	地区活動資金に戻入	1,749,167
収入の部合計		3,581,000



2018～2019年度  
RYLAセミナー **生きぬく!!** ～様々な知識を得て～

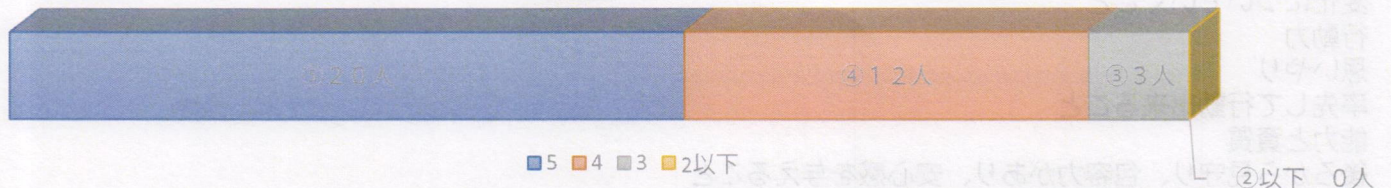




# RYLAセミナー受講生へのアンケート結果

1. 今回のRYLAセミナーを5段階評価すると？

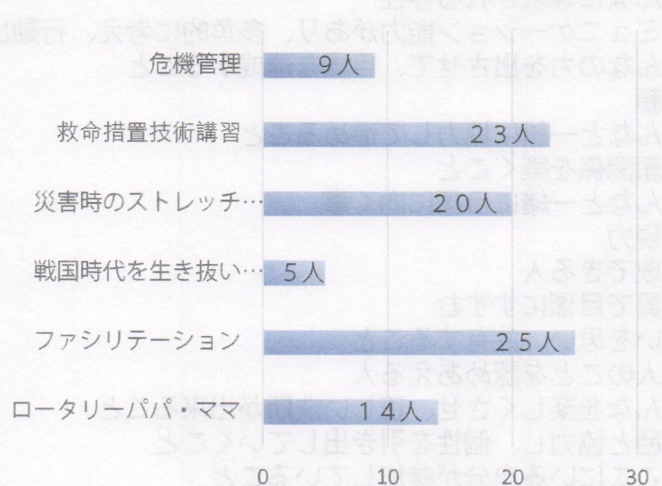
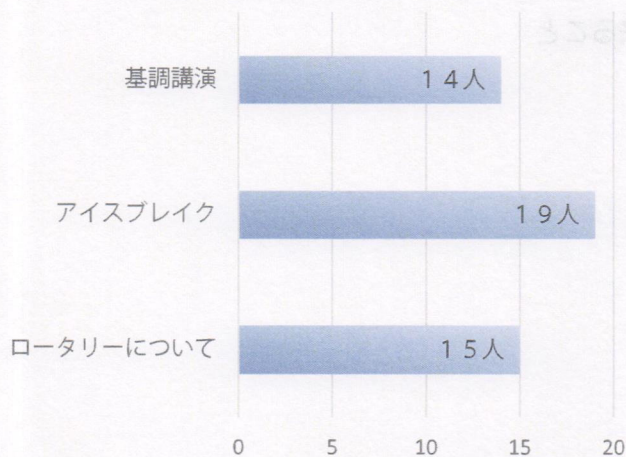
大変良い 5 4 3 2 1 大変悪い



2. 今回のRYLAセミナーで気付きが多く、学びにつながったと思うプログラムに○をして下さい。また、その理由も教えて下さい。

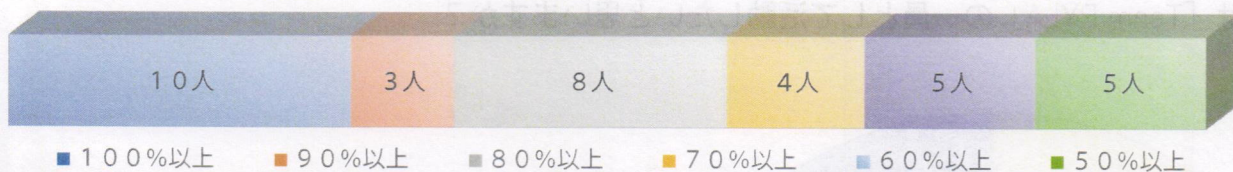
1日目

2日目



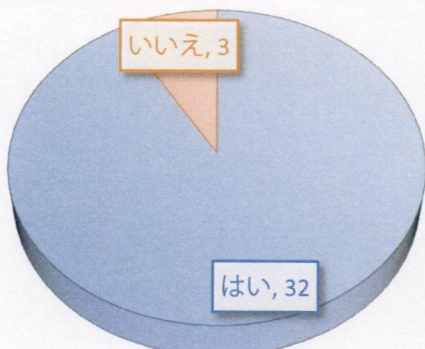
3. 今回のライラツリーに書いた目標はどれくらい達成できたと思いますか？

また、その理由も教えてください。



4. 今回のRYLAセミナーに参加して、今までと考えが変わったことはありますか？

はい  いいえ





5 あなたが思うリーダーシップを一言で表現してください。リーダーシップとは〇〇だ

思いやりの心

客観視

みんなの力を合わせられる人

変化についていくこと

行動力

思いやり

率先して行動出来ること

能力と資質

後ろから見守り、包容力があり、安心感を与えること

メンバーの特性を理解し、自分も含め成長できる存在

みんなと家族のように仲が良く、人の前に立ち、横に並び、後ろを守る人

一人で生き抜く力と他人をひきつける力を両立している人

周りをきちんと見ながら行動ができる人

自分の力で周りを引っ張り、貢献できる人

感動させることと心のつながり方

他を思いやる心

みんなに尊敬される存在

コミュニケーション能力があり、多角的に考え、行動出来ること

みんなの力を出させて、目標を達成すること

信頼

みんなと一緒に協力して進めること

信頼関係を築くこと

みんなと一緒に目標に向く事

実現力

尊敬できる人

全員で目標にすすむ

互いを思い、共有すること

他人のことを認めあえる人

みんなを楽しくさせ、正しい決断が出来ること

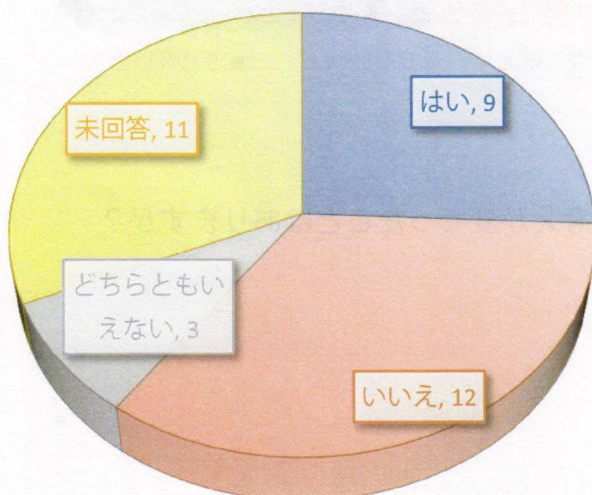
周囲と協力し、個性を引き出していくこと

今ここにいる自分が参加していること

行動でみんなをやる気にさせ、まとめること

明るくみんなを導き、フォローする役割

6 あなたは「Team RYLA」の一員として活動したいと思いますか？





今回の RYLA セミナーに参加した感想を記載してください。

本当にありがとうございました。自分の所属する組織に学んだ事を持って帰ります。

日本の友達と交流できた良かった。

楽しかったです。充実した2泊3日をありがとうございました。

色々経験出来ました。ありがとうございました。

とても有意義な3日間でした。

今回貴重な体験、講話に参加でき、ありがとうございます。また機会があれば参加してみたいです。

なんとなく来たけれども終わってみれば、とても学びのあるセミナーだった。

3日間で人との関わりが楽しいと思えました。とても有意義でした。

参加してみて良かった。

非常に楽しかったです。ありがとうございました。

ずっと班行動することで、班の仲が良くなれて良かった。学ぶことがたくさんあって良かった。

学びが多く、これからの仕事や生き方に活かせると思った。ただ、2泊3日は長い。

「すてき」の3日間でした。ありがとうございました。

若い年齢層で参加し、たくさんの方の悩み、職について聞けた。

最初は何も分からず参加したが、良い経験となった。

楽しく学べる3日間でした。

参加して本当に良かった。留学生として日本人と会って交流して勉強にもなりました。良い機会でした。

今回は研修で個々の技術を取得し、2泊3日でチームワークを高められました。

春のライラセミナーとは違う感じがした。社会人らしい活動でした。

楽しかったが、もっと期待していた。

貴重な体験をありがとうございました。

自分を再確認出来る良い機会であった。

いい勉強になりました。

前回の春が楽しく、今回はどうなるのか期待と不安が半々だったが、今回もとても楽しかったです。

全部楽しく、習ったことがたくさんありました。

RAC以外のメンバーとの交流が出来たことが、とても良い経験になりました。

ほとんどがドキドキして大変なことでしたが、確実に成長できたと思います。

友達をたくさん作りました。楽しかった。

楽しかったです。





**茨木西ロータリークラブ事務局**

〒567-0033 大阪府茨木市松ヶ本町2-35 大阪北摂タバコ会館 TEL:072-623-2668 FAX:072-622-1173

✉ ibanisi@theia.ocn.ne.jp